

A stylized, layered illustration of Mount Fuji in shades of green and blue, set against a light blue gradient background. The mountain is centered and serves as the backdrop for the text.

我が国の対 Bangladesh 外交の課題

2005年12月7日

在 Bangladesh 日本国大使

堀口 松城

ジア首相訪日（本年7月）

- バングラデシュ首相の訪日は8年振り
- ジア首相にとっては11年振り、4回目

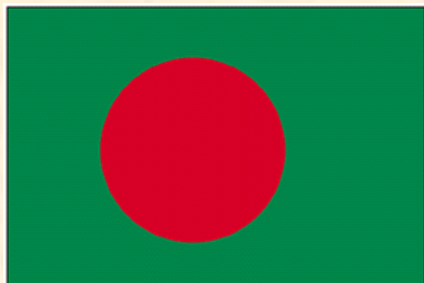
首脳訪問には
他の手段では果たし得ない効果あり

我が国の外交にとっての バングラデシュの重要性

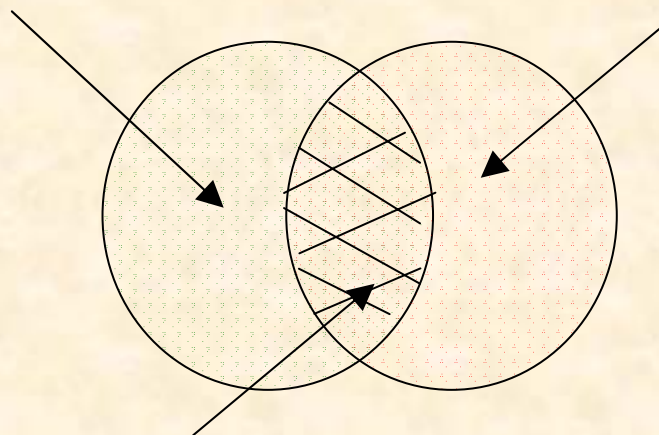
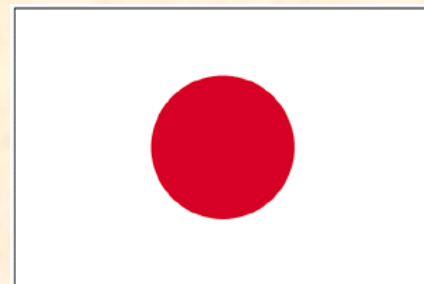
- 途上国 (LDC) のスポークスマン
非同盟国 (NAM) のメンバー
- イスラム教徒が多数の穏健な国
民主主義を堅持
- 南アジアの安定勢力
南アジアと東アジアの接点
- 世界有数の親日国

日本と共通する利益を実現し、深化させるパートナー

バングラデシュの国益



日本の国益



共通する利益

例：国際社会の平和と安定

民主主義の定着

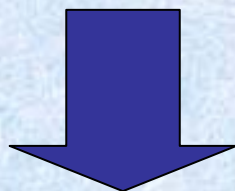
貿易・投資促進

開発の実現

ジア首相訪日（7月、東京）

「共同プレス発表」

- 貿易・投資関係拡大への期待
- 国際的な諸課題について一層の協力関係



具体的な成果につなげられるかは、
今後の両国の努力次第

内政～治安情勢～

政府の治安改善策

オペレーション・クリーン・ハート

合同作戦免責法

→国内や欧州諸国等で非難

RABの荒療治による一定の改善

→一般国民はおおむね好意的

→西側諸国や人権団体は懸念

内政～イスラム勢力～

頻発する同時爆破事件

- 8月17日全国63県
- 10月3日チッタゴンなど東部3県
- 11月14日地裁判事補爆死
- 11月29日チッタゴン・ガジプール

一般国民へ大きなショック

爆弾事件の様相が危険な方向へ？

内政～イスラム勢力～

国内のイスラム武装組織：12グループ

資金活動を海外のイスラム系NGOに依存

アフガニスタンから帰還したイスラム義勇兵

マドラサ：約1万

イスラム原理主義的な教育

→政府による統一した健全な義務教育が必要

内政～次期選挙～

2006年10月 現政権任期満了
選挙管理内閣発足

2007年1月頃 選挙

BNP

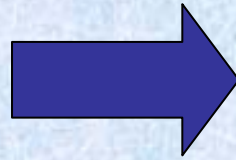
- ジャマティ・イスラミとの協力必要

アワミ連盟

- BNPとジャマティ・イスラミとの離反を図る
- 選挙をボイコットする可能性

内政～次期選挙～

- イスラム過激派によるテロなど治安の悪化
- 物価の高騰
- 停電、断水頻発



選挙の結果
不透明

SAARC(南アジア地域協力連合)

SAARC首脳会議開催(11月12日~13日、ダッカ)

「ダッカ宣言」採択

- 2006年1月1日からのSAFTA実施
(南アジア自由貿易協定)
- 「SAARC貧困削減の10年」の宣言
- 観光や環境分野での協調
- アフガニスタン加盟
- 日本・中国オブザーバー資格

対中・対印関係

中国は南アジア地域への関与を深化

本年4月、温家宝中国首相がインド、バングラデシュなど南アジアを訪問

インド、中国の著しい経済成長

- エネルギー必要
- 通商貿易拡大に有利な国際環境を希求



バングラデシュは自らの好機とすべき

日本との関係

二国間関係は良好

- 国際機関の選挙でほぼ一貫して日本支持
- 要人往来の活発化

日本からバングラデシュへ

- 本年1月、常田農水副大臣
- 本年5月、谷川外務副大臣
- 本年6月、逢沢外務副大臣

日本との関係

地域的・国際的諸課題の解決に向けて支援

南アジアの安定と繁栄



アジア地域全体の安定と繁栄

日本は今後も地域の安定と発展の枠組み作りを支援

- 日・SAARC特別基金(1993年設立)
- SAARCオブザーバー資格

バングラデシュ経済概観

貿易

多国間繊維取極め(MFA)失効

→縫製品輸出の落ち込みが懸念

2005年度の実績:前年度比13.8%の伸び

投資

大型案件を中心に大幅増

基礎的インフラ整備・制度改善はなお課題

ジア首相訪日による日本の関心増大

- 「共同プレス発表」

経済関係強化のために両政府が支援と協力

- バングラデシュ・ビジネス・セミナー

- バングラデシュ国民が日本の民間企業で研修・技能実習を受けることを合意

貿易・投資環境改善に向けて

関係者間の対話や協力を通じた支援大切

- JBCCI主催第2回トレード・フェア開催
- 野島日バ商業経済合同委員会委員長来訪
- ダッカ日本商工会によるビジネス環境改善提言

ODAの活用

- 国別援助計画
民間セクター開発、運輸、電力を重点セクター
- 貿易投資環境改善、基礎インフラ整備、人材育成支援

日本企業支援

全体的な日本企業支援

+

個別企業が直面するビジネス阻害要因対応

- 日本企業支援ウェブサイトの立上げ
- 支援体制の見直し

国別援助計画改定

11月24日：ODA総合戦略会議で対バングラデシュ国別援助計画最終案が原則了承

我が国がバングラデシュを支援する理由

- 貧困削減と成長の実現
- 国際的な協力関係の基盤形成
- 貿易・投資先としての関係強化

開発パートナーとの連携

バングラデシュ政府：

貧困削減戦略実施に向けて多くの援助国・
機関と協力を進める姿勢

日本は主要ドナー(WB、ADB、UK)とともに
共通国別援助戦略の枠組みを新たに策定
個別のセクターについても他のドナーと連携

我が国の援助効果の最大化

ガバナンスの課題

Bangladeshの開発実現のための最大の課題

- 汚職対策
- 事業実施能力
- 司法制度
- 地方行政制度

我が国の支援

- 警察支援
- 公務員研修強化
- 個別セクターの実施機関強化と改革の推進
- 地方分権の推進と地方行政制度の改善

文化交流

ジア首相訪日の成果

- 「ジャパン・フェスティバル」「バングラデシュ・フェスティバル」の開催について合意
- 文化交流行動計画署名

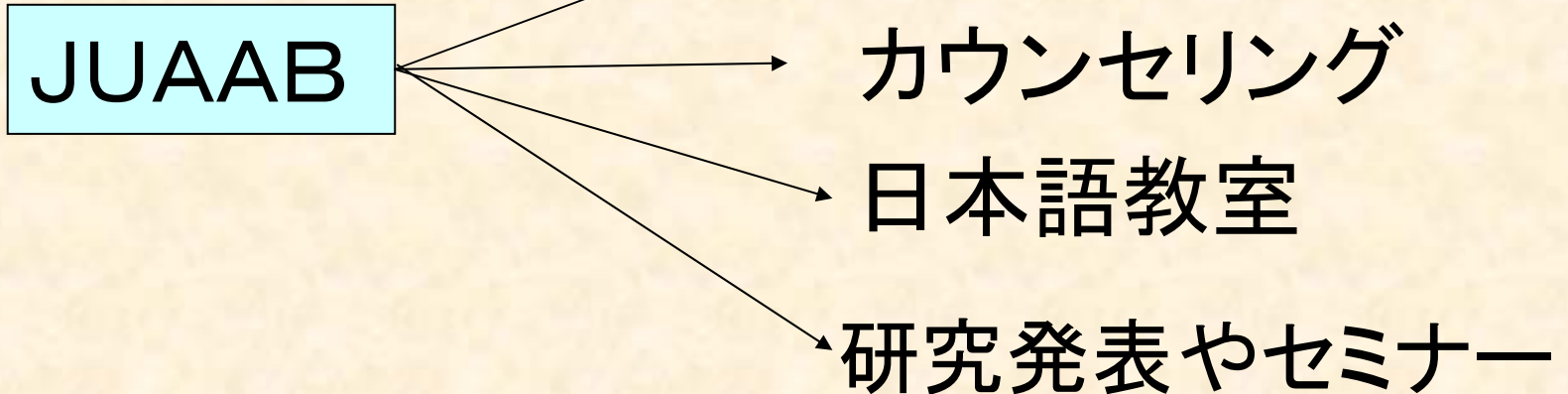
このフォローアップとして

来年2月前半にダッカで「ジャパン・フェスティバル」開催
クレイワーク展、映画祭等総合的的日本文化紹介事業

人物交流の重要性

優秀な留学生を日本へ招聘
帰国後のアフターケア

日本留学支援



政策広報

「パブリック・ディプロマシー」

- 政策講演会
- TV・新聞等メディアによるインタビュー
- ウェブサイト、メールマガジン

対「バ」政策
日・「バ」関係
政情分析
安全情報



よりわかりやすく、
有益な情報を提供

危機管理～治安の現状～

爆弾事件の質と攻撃対象の変化

国内で初めての自爆テロ型爆弾事件

「ソフトターゲット」

イスラム過激派組織の台頭

国内イスラム過激派組織による犯行声明

「アッラーのイスラム法の創設」

「ブッシュ米大統領や不信仰者に対する警告」

危機管理～治安の現状～

3つのイスラム過激派組織が活動禁止措置

世界のイスラム過激派組織

各組織間の横の連携強化

「体感治安」の悪化

- 貧富格差のもたらす問題・汚職に対する不満
- マドラサの増加などイスラム教勢力増大に対する人々の不安

危機管理

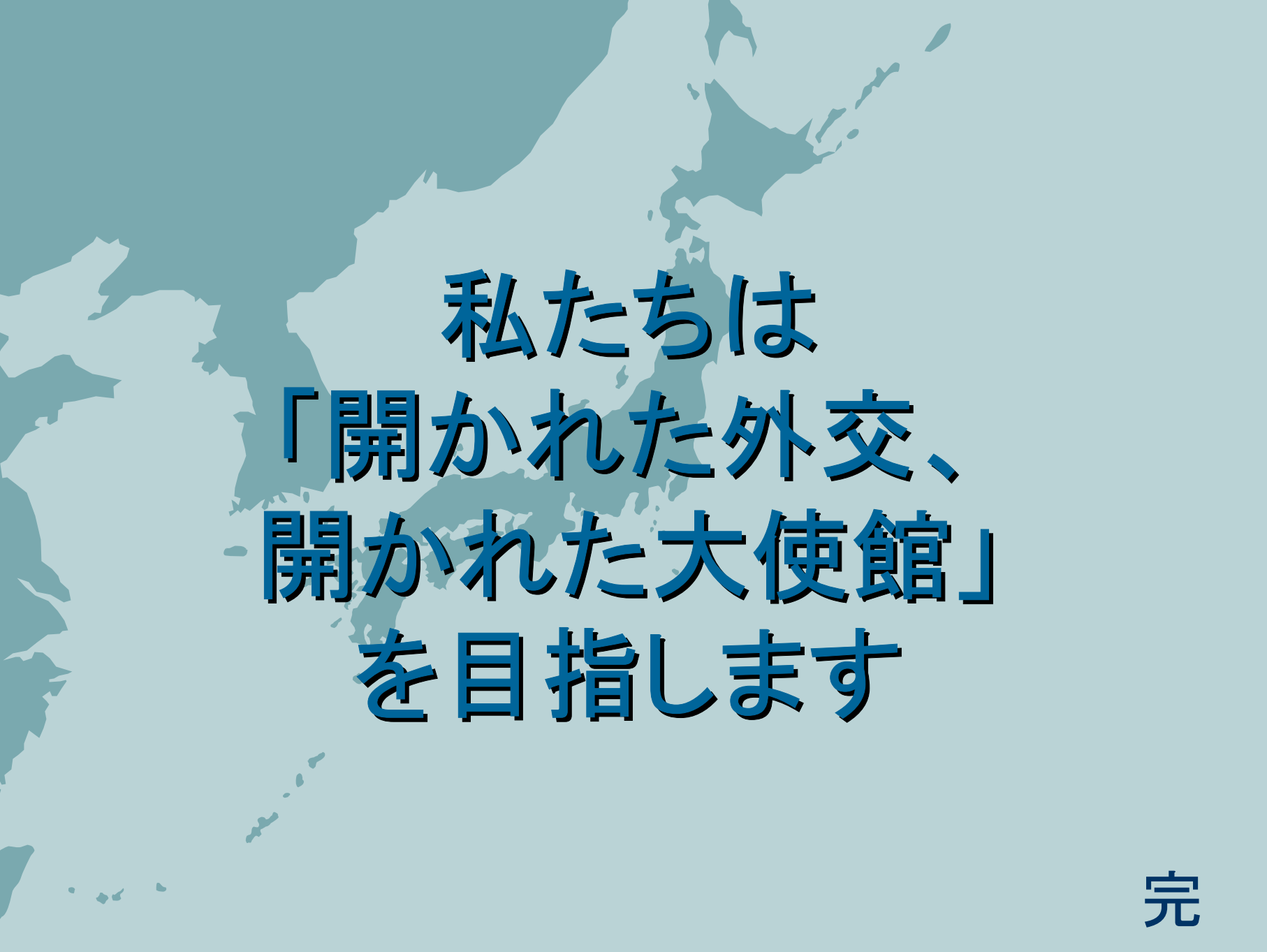
～今後の体制・邦人保護～

•政府への申入れ

事件の徹底した捜査
犯人逮捕
捜査結果の公表

•関係情報収集・発信

「邦人安全情報」
「クライム・マップ」
「防犯対策Q&A」
大使館ウェブサイト



私たちは
「開かれた外交、
開かれた大使館」
を目指します

完